

## 司会者の挨拶

アンドルー・ゴードン

---

このパネルを開始する前に、司会者としての特権を利用して、大原社会問題研究所の重要性について私自身がどのように理解しているのか、私と大原社研の出会いをお話することで紹介します。1978年秋、私は日本の労使関係と労働運動の歴史、とくに造船業、機械工業、鉄鋼業などの重工業部門の歴史、を調査するために日本に向かいました。出発する前、幸運にも二村一夫教授にお会いする機会があり、彼はもちろん大原社研の史料を使うことを勧めました。このような機会がなかったとしても、最終的には大原社研に行き着いたと思いますが、行き着くまでにもっと時間がかかり、(二村教授から受けたような)専門家のガイダンスがないまま研究所の史料を使うことになったと思います。当時港区三の橋のそばの、法政大学麻布校舎にあった研究所のアーカイブにほとんど毎日通うようになりました。そして、所蔵されている史料は非常に価値があるコレクションであることにすぐ気付きました。

大原社研は、他のアーカイブと同様に、史料がどのように、どのような理由で収集されたのか独自の歴史をもっています。そのような歴史に気づくことは、私たちに史料の重要性を認識させ、またどのように史料を読んだらよいのかヒントを与えます。私は当時そのことに気付いていませんでした。そのことに早く気付けば、私の研究はもっと実りが多いものになっていたかも知れません。今日のパネリストの発表が、皆さんにそのような「気づき」のきっかけを与えることを望みます。

思い返せば、私は史料収集の歴史の重要性について、次のような素晴らしい出会いが起きた時に気付くべきでした。私は大原社研で、東京月島の石川島造船所の労働運動の歴史、とくに1921年に起きた大争議について調べていました。二村教授はそのことを知っており、私がある日大原社研に行くと、彼は閲覧室で古い史料を読んでいた老人を紹介してくれました。その人は、1920年代の石川島造船所労働組合で指導的立場にあり、私が読んでいた史料でも頻繁に登場した斉藤忠利氏本人でした。彼は、その時84歳でした。二村教授が私を斉藤氏に紹介したとき、協調会文庫の警察資料のぼろぼろのガリ版の頁から、そこに書かれている人物が魔法によって現世に現れて私に挨拶しているような感覚にとらわれました。私は斉藤氏の自宅を訪問する約束をし、幸運にも非常に詳細な聞き取りをすることができました。

当時、斉藤氏に出会えたことを非常に幸運なめぐり合わせだと思いましたが、それ以上のことは考えませんでした。もちろん、ある程度の幸運はあったのですが、この出会いは必然的とは言えないとしても、少なくとも起こりうることで、驚くべきことではなかったのです。アーカイブは、ある意味で「生活空間」あるいはコミュニティです。アーカイブで収集された史料は、収集者たち

司会者の挨拶（アンドルー・ゴードン）

がもっている目的と意図だけでなく、同時に「収集される人々」の利害や目標も反映しています。「収集される人々」は、自分たちが書かれた史料が所蔵されている機関（大原社研）と結びつきをもつコミュニティを形成します。なぜなら、大原社研はこれらの人々に「あなたたちの運動は現在においても意味がある」というメッセージを発信しているからです。私をもっと心に刻むべきだった教訓は、大原社研の史料に基づいてある事例を研究する際に、大原社研の所員が史料の収集対象の生活や運動の当事者と、どのような相互関係を結んだのかもっと注意を払うべきであるということでした。

以上のコメントを、司会者の挨拶に代えさせていただきます。では次にパネルの参加者を紹介させていただきます（以下のプログラムを参照）。

（Andrew Gordon ハーバード大学歴史学部教授）

### **The 59th Annual Meeting of the Association for Asian Studies**

March 22-25, 2007

Boston Marriott Copley Place

SESSION 57. 10:45 a.m. - 12:45 p.m. Simmons - 3rd Floor

From Think-Tank to Archive: The Ohara Institute for Social Research as Resource and Subject for Japanese Studies

Chaired by Andrew Gordon, Harvard University

The Ohara Institute and the Birth of Labor Science

Izumi Nakayama, Furman University

Doing Culture Studies in the Ohara Archives

Christopher Gerteis, Creighton University

On-line resources available at [oisr.org](http://oisr.org)

Akira Suzuki, Hosei University

Discussant: Kazuo Nimura, Hosei University